

● スライド解説

労基署“がさ入れ”防衛策

～社員に垂れ込まれないためのポイント教えます～

日本中央社会保険労務士事務所 社会保険労務士 内海 正人

■無益な労務トラブルを防ごう

経営の問題はいろいろあります。そして最終的には「ヒト」の問題へとたどり着きます。

でもなぜ事態が悪化してからでないこの問題は取り上げられないのでしょうか？

多くの企業は利益追求の一方で、ヒトの問題を後回しにしがちです。そのツケが…深刻になるばかり…。

そして、労働基準監督署に駆け込まれ、調査を受けるハメに！！

最近では解雇や賃金に対するトラブルが多く発生しています。労働基準監督署に駆け込むことや垂れ込むことは日常化してきています。そして、労働者とのトラブルにより数百万円から数千万円、数億円の支払いを命じられるケースもあります。

しかし、恐れていても始まりません。労働基準監督署の調査とはどのようなものなのか、ポイントを掲示したうえで分かりやすくお話しします。

1 従業員と会社のトラブルが増え続ける理由は？

2 社員が監督署に駆け込む時！

3 新規設立企業、新入社員に！

4 賃金の支払い方に疑問？

5 退職者の告発！

6 同業者が調査されていたら…

7 労働基準監督署の調査とは

8 是正勧告について

9 労働基準監督署が多く指摘するポイント1

10 労働基準監督署が多く指摘するポイント2

11 労働者名簿は正しく作成されていますか？

12 賃金台帳は正しく記入されていますか？

13 残業対策について 1

14 残業対策について 2

15 残業対策について 3

16 労基署調査リスクの軽減

■内海 正人 (うつみ まさと)

■社会保険労務士 ■AFP ■宅地建物取引主任者

もとは金融会社に勤務。担当した職種柄、経営コンサルティング的な仕事が増えていくうちに、もっと「そこで働く人たちに焦点を当てた仕事」がしたくなり、社会保険労務士に転身。

同業者の中でも、金融業界で培った知識と経験を活かせる特異な存在。特に、退職金制度改訂問題に関しては、全国でも数少ないエキスパートの1人として頼りにされている。

<http://eroumu.com/> <http://roumu55.com> utsumi@j-central.jp